

乳頭突起の脱骨：道央SP

脱骨方式

対象

胸椎・腰椎の乳頭突起

作業

- ①腰椎横突起下への切込み後、ナイフ柄で乳頭突起上の幅を広げる。
 - ②左手(器具可)で椎体を広げながら、乳頭突起根元(横)にナイフを直線的に入れる（山は掘らない）。
 - ③更に左手で椎体を大きく広げながら、乳頭突起根元(下)にナイフを直線的に入れる
 - ④椎体を広げながら、棘突起根元より切り込んで、椎体を切り離す。
- *ミートランド方式では先に棘突起根元までナイフの切込みを入れている

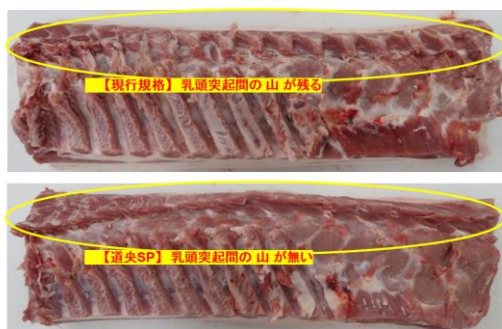
作業 ポイント

- ①左手の使い方が重要である。椎体を極力広げることで乳頭突起の根元へのナイフ入れがしやすくなる。
- ②腰椎横突起・乳頭突起および棘突起の根元まで確実にナイフを入れること。根元までしっかり入らなければ、根元に斜め状の残肉が発生、歩留低下となる。
- ③ナイフが深く入る過ぎると、ロース芯に傷が入るので注意する。

動画 解説



現行との比較(ロース肉)



現行との比較(骨:椎体)

